



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

本年4月に6年生を対象に実施された「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力と学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。

本校では、調査結果の分析から、国語において、漢字の特別な読み方の理解、類推する力や、与えられた情報を取り扱う力に弱みが見られ、算数においては「図形」の領域に課題があることがわかってきました。

今後は国語において、同音異義語や、特別な読み方の例を挙げながら指導するとともに、文章の内容を要約し、情報を整理した上で、自分の考えを簡潔にまとめる場を設定していきたいと考えています。算数では、体験的な活動を通して、図形の知識や数学的見方を育成する場面を学年に応じて設定していくことで弱みを克服したいと考えています。

今回の調査では、国語では「話すこと・聞くこと」、算数では「変化と関係」についての問題の正答率が高いなどの成果もありました。この結果の分析をもとに、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実させていきたいと思いをします。

【教科に関する調査の結果】

平均正答率	国語	算数
本校 (全国との差)	()	()
全国	66.8	58.0

各教科の平均正答率は、国語は全国平均を上回り、算数は全国平均と同じです。理科は全国平均を下回り、社会は全国平均を少し上回りました。領域別にみると、国語では「話すこと・聞くこと」、算数では「変化と関係」の平均正答率が高い傾向にあります。両教科とも記述して解答する問題の無回答率が低く、書く力が少しずつ育ってきました。

【各教科のできているところ（○）と できていないところ（●）】

国語

○意図に応じて話の内容を捉える問題で正答率が高い。

問題番号1三（本校の正答率 88.9%）〈概要〉文中の目的として適切なものを選択する。

●集めた材料を分類したり関連付けたりして内容を検討する力が弱い。

問題番号1一（本校の正答率 40.7%）〈概要〉「話し合いの様子」の中から適切なものを選択する。

●与えられた情報と情報を関連付けて内容を理解し使うことに課題がある。

問題番号1二（本校の正答率 44.4%）〈概要〉「話し合いの記録」を説明したものを選択する。

《今後の学校としての取組》

- ・新出漢字の学習の際に、同音異義語や特別な読み方など、例を挙げながら指導する。
- ・自分の考えを文章で書き表す際に、目的や意図に応じて書く内容や情報を取捨選択し、構成を考えてから書くように指導する。

算数

○グラフを読み取り、関連項目の数値を読み取る問題で正答率が高い。

問題番号1(1) (本校の正答率 85.2%) 〈概要〉グラフの指定の年度の数値を比較し約何倍かを選択する。

○割合が変化する数量が何倍になっているかを表す問題で比較的に正答率が高い。

問題番号4(4) (本校の正答率 51.9%全国+11) 〈概要〉「10%増量」が「増量前の量」の何倍かを表す。

●「図形」の領域に課題がある。

問題番号2(1) (本校の正答率 48.1%) 〈概要〉平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて作図する。

《今後の学校としての取組》

- ・「図形」の領域で、子どもたちが主体的に学習に取り組めるような課題を設定するとともに、学んだことの良さを実感できるような、ふりかえりを行う。
- ・「図形」の領域だけでなく、算数科の全領域で、体験的な活動とともに学び、学んだことを活かせる適用問題に取り組む場面を設定する。
- ・日常的に算数用語を用いるようにする。

【児童質問紙より】

児童質問紙は、児童の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。

以下に、本校の結果で特徴的な項目を取り上げます。

学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）	1時間以上	本校 39.2	全国 54.0	-14.8
--	-------	------------	------------	-------

土曜日や日曜日など学校の休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）	1時間以上	39.3	47.1	-7.8
---	-------	------	------	------

読書は好きですか。	当てはまる	71.4	69.7	+1.7
-----------	-------	------	------	------

《家庭・地域みなさんと連携して、子どもの「学びと育ち」を支えるために》

生活習慣の確立と学びの土台づくりのために、以下の取組をお願いします。

- ・規則正しい生活リズムを身に付けさせる。
十分な睡眠時間の確保、朝食の摂取、栄養バランスの取れた食事をする。
- ・家庭で学習や読書をする習慣を定着させる。
子どもが立てた「本日の学習メニュー」の中身を聞く。
身近なところに本がある環境を整える。
- ・自己肯定感を高める。
いろいろな人とかわり、たくさんほめてもらう機会をつくる。